

札幌市在住の小林氏は、小樽に生まれ育った筆谷等観を始め、北海道にゆかりのある優れた日本画作品を四半世紀にわたって収集してこられました。収集対象は、北海道に画壇が形成される以前から、太平洋戦争後の現代日本画界を華やかに彩った画家たちに至るまで広範囲にわたっています。市立小樽美術館は、小林コレクションを一堂に披露するはじめての機会に恵まれ、前回開催の第1期に引き続き、このたび第2期の展覧会を開催いたします。

本展では、美術界の動向に刺激を受け、北海道から東京、京都を目指して旅立ち、院展や帝展（のちの文展、日展）に挑戦して名を成し、その後はおもに道外で活躍した画家たちに注目いたしました。

明治から昭和にかけて、日本画の権威であった院展・帝展に、いちはやく筆谷等観、山口蓬春、北上聖牛、田中針水らが出品しています。彼らは出身地の北海道美術界へ直接、間接的に影響を与える存在で、その後を追うように後輩たちが育っています。

岩橋英遠、菊川多賀、森田沙伊らは、伝統的な日本画技法を学び、戦後になると絵具の厚塗り、洋画との融合を試行錯誤して苦闘の時代を切り開きます。また、たびたび日展特選を受けた尾山轍や曲子光男は、北海道出身官展系作家の白眉となります。故郷を離れても、生まれ育った風土に培われた感性は失われることなく、北海道的なスケール感や柔軟な発想によつて、それぞれに個性豊かな画風を開花させていきます。

展示作品には、各々画風の確立された時代の作だけでなく、岩橋英遠、森田沙伊、菊川多賀の若き日の作品、田中針水、筆谷等観の美人画、福井爽人の珍しい軸装作品等が観られます。

本展は、明治から現代に連なる、院展、日展で活躍した北海道出身の日本画家たちを小林コレクションのなかから選りすぐり展覧するものです。

■コーナー展示 筆谷等観の画業 第2期

小樽の商家に生まれ、小樽出身の画家として中央画壇で最も早く活躍した院展同人、筆谷等観（二八七五〜一九五〇）の作品をご紹介します。



曲子光男 白椿図



山口蓬春 計志



菊川多賀 舞妓二人



福井爽人 百夜草



森田沙伊 人形



尾山轍 洋蘭

※森田沙伊の作品につきましては、著作権者の連絡先が不明のため、必要な手続きがとれておりません。情報をお持ちの方は、市立小樽美術館までご連絡下さいますようお願いいたします。

連続講演会

5月22日（土）14:00~15:30

「北海道の日本画家たち」

土岐美由紀

（北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課課長補佐）

5月29日（土）14:00~15:30

「岩橋英遠と片岡球子」

新明英仁（市立小樽美術館館長）

聴講無料 定員20名

電話0134-34-0035による先着順



岩橋英遠 牡丹



田中針水 もみじ狩り



岩橋英遠 五月晴れ

市立小樽美術館  
otaru city museum of art

〒047-0031 小樽市色内1-9-5

Tel:0134-34-0035 Fax:0134-32-2388

